EA916X-23
ショルダー型メガホン（大型）

仕様
- ●通達距離…音声：約800m
  ホイッスル：約1000m
- ●定格出力…30W（最大45W）
- ●電源…単1電池10本
- ●電池持続時間…音声：約17時間
  ホイッスル：約1．5時間
- ●サイズ…Φ351×512mm
- ●重量…本体：3.6kg（電池含まず）
- ●抗菌仕様
- ●材質…アンプケース上部＆ホーン部：アルミダイカスト
  その他：ABS樹脂
- ●付属品…外部電源用プラグ付コード、Φ3.5ミニプラグ
  防滴カバー
- **●電池は付属しておりません**

①ホイッスルボタン
②予備入力ボリューム
③予備入力端子
④外部マイクボリューム
⑤外部マイク入力
⑥外部入力電源スイッチ
⑦外部電源入力端子

Φ3.5ミニプラグ（AUX入力用）

外部電源用プラグ付コード（1m）

自動車などの12Vバッテリーに
直結し、プラグを⑦に差込めば
電池無しで使用が出来ます

■概　要

定格出力30 Wのホイッスル音付きショルダー型メガホンです。

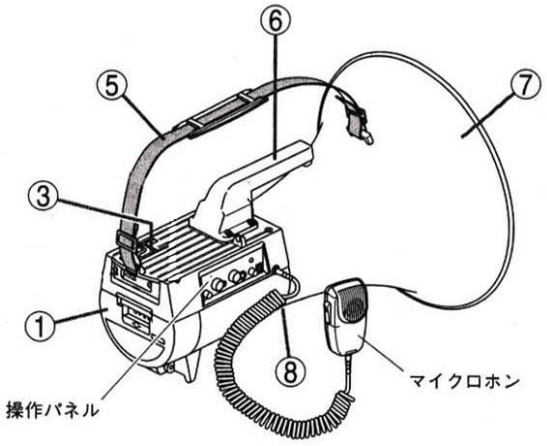
■特　長

- 本体付けマイクロホンには、トークスイッチやボリュームがあり、手元で簡単に操作できます。
- 外部入力端子に別売の有線マイクロホン、CD、MD、カセットプレーヤーなどを接続して拡声ができます。
- 外部電源入力端子に12 V蓄電池を接続して使用できます。
- 操作パネル部の電源表示灯（点灯/点滅）で電池の残量が確認できます。
- スピーカースタンド　　（別売品）に取り付けることができます。
- マイクロホン部は抗菌処理を施しているので、衛生上、安全に使用できます。
- 本機は防水構造になっていませんが、小雨など水滴がかかるような場所では付属の防滴カバーを装着して使用できます。

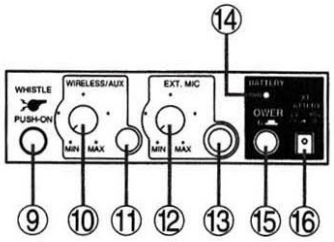
■使用上のご注意

- 万一、次のような異常が起きたら、販売店にご相談ください。
  そのまま使用すると故障の原因となります。
  ・煙が出ている、変なにおいがするとき
  ・内部に水や異物が入ったとき
  ・音が出ないとき（電池が正しい方向に挿入されており、消耗もしていないことを確認後）
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
  故障の原因となることがあります。
- 大雨や強風の中、あるいは水が直接かかる場所では、たとえ付属の防滴カバーを装着しても使用しないでください。
- 長時間電池を入れたままにする場合は、電池が切れていないか、液漏れしていないかなどを定期的に点検してください。
- 長時間、音が歪んだ状態で使用しないでください。
  メガホン内部が発熱し、故障の原因となることがあります。
- 本機の近くで携帯電話などを使用すると、ノイズが発生することがありますが故障ではありません。携帯電話などは本機からできるだけ離れて使用してください。
- ケース外部の汚れの清掃には、水に濡らして固く絞った布を使用してください。また、ひどい汚れには、中性洗剤をしみこませて固く絞った布を使用してください。ベンジン・シンナー・アルコール類などは絶対に使用しないでください。ケースの変形や変色の原因になります。

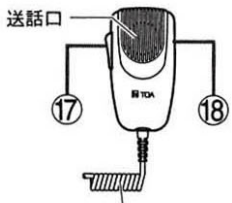
■各部の名称とはたらき



［操作パネル部］



［マイクロホン部］



① 電池カバー
内部に電池収納部があります。
電池を交換するときに開閉します。

③ マイクハンガー
マイクを使わないときは、この部分に差し込んで固定してください。

ご注意

無理な力はかけないでください。破損の原因となります。

⑤ ベルト
持ち運ぶときや拡声するときに、肩にかけて使用します。
（長さ：約1 m）

⑥ ハンドル

⑦ スピーカー（ホーン部）

⑧ スピーカースタンド取付穴
底面にあるねじ穴にスピーカースタンド　　（別売品）を取り付けることができます。

⑨ 信号音スイッチ［WHISTLE］
押すとホイッスルが鳴り、離すと止まります。

メ　モ

ホイッスルの音量は一定です。ボリュームで変化しません。

⑩ 予備入力ボリューム［ /AUX］
予備入力に接続した機器の音量を調節します。

ご注意

- 予備入力の ボリュームです。予備入力に接続される外部機器の出力レベルは、適切に調節しておいてください。

⑪ **予備入力端子**
CD、MD、カセットプレーヤーなどの外部機器の出力を、付属のφ3.5ミニプラグを使って接続します。

⑫ **外部マイクボリューム［EXT. MIC］**
外部マイク入力端子⑬に接続したマイクロホンの音量を調節します。

⑬ **外部マイク入力端子**
別売の有線マイクロホンを接続して使用します。
※ マイクロホンはφ6.3大型ホーンプラグ対応の不平衡入力です。

⑭ **電源表示灯［BATTERY］**
外部入力電源スイッチ⑮をONにすると点灯します。
また、電池の残量が確認できます。
点灯：電池の残量が十分あります。
点滅：電池の交換時期です。
※ マンガン乾電池では電圧復帰現象がありますので、電池交換時期の目安としてご使用ください。

⑮ **外部入力電源スイッチ［POWER］**
ワイヤレスマイクロホン、予備入力機器、外部マイクロホンを使用するときに押します。
スイッチを押すと、電源が入り（ON）、もう一度押すと電源が切れます（OFF）。

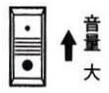
⑯ **外部電源入力端子［EXT. BATTERY］**
付属の外部電源用プラグ付きコードを使用して、12 Vバッテリーに接続します。

ご注意

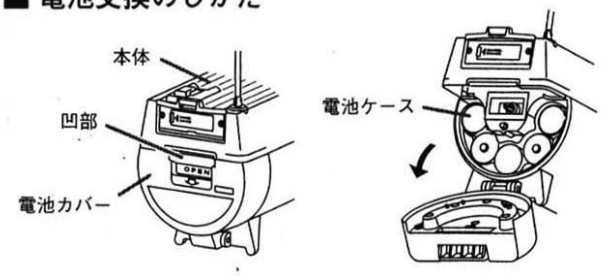
外部電源入力端子にプラグを差し込むと、内部電源（乾電池）は切れて外部電源が優先します。

⑰ **トークスイッチ**
押すと電源が入り、拡声できます。離すと電源が切れます。

⑱ **ボリューム**
上の方へ回すと、音量が大きくなります。



■ 電池交換のしかた



1 電池カバーの凹部を矢印方向に押して、電池カバーを開ける。

2 電池ケースを取り出し、電池極性表示に従って単1形乾電池（10個）を入れる。

3 電池ケースを本体に収納し、電池カバーを押さえて確実に閉める。

■ 本体付けマイクロホンを使用するとき

⚠注意
- マイクのトークスイッチを押す前には必ずボリュームを最小にしておいてください。
- 音量テストをするときは、スピーカーを地面に向けて行ってください。

1 マイクハンガーからマイクを外す。

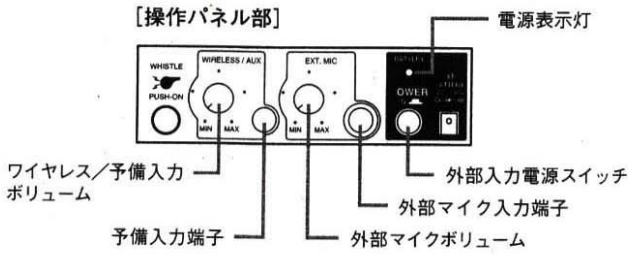
2 トークスイッチを押しながら、ボリュームでハウリング（キーンという音）が起こらないように適当な音量に調節する。
室内など音の反響が多い場所ではハウリングが起こりやすいので、特に電池が新しい場合はボリューム目盛りを最大まで上げることができません。ボリューム目盛りの位置は、中間程度を目安に音量を調節してください。

3 マイク送話口から1 cm程度の距離で、大きめの声で話す。
※ マイクを離し過ぎたり、小さな声で話したりすると、音量不足になることがあります。

マイク収納時のご注意

ボリュームを最小にしてから、マイクハンガーに差し込んでください。ボリュームを上げたままの状態で収納すると、マイク着脱時に不用意にトークスイッチを押してハウリングを起こすことがあります。

■ 外部機器を使用するとき



1 外部機器を接続する。

1-1 一般のマイクロホンを使用する場合
外部マイク入力端子に、ムービングコイル型マイクロホンを接続します。

1-2 CD、MD、カセットプレーヤーなどを使用する場合
予備入力端子に、付属の ϕ 3.5 のミニプラグを使って接続します。

ご注意 接続コードおよび外部機器接続プラグは別途手配してください。市販のオーディオ用 ϕ 3.5 ステレオミニプラグの使用をお勧めします。

2 操作パネルの外部入力電源スイッチを入れる。

本機の電源表示灯が点灯します。
※ 点滅している場合は電池の交換時期です。

3 ボリュームで適切な音量に調節する。

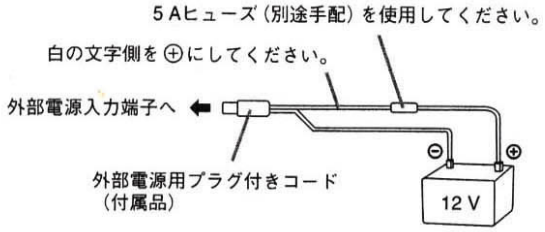
外部マイク入力は、外部マイクボリュームで行います。
予備入力は、予備入力ボリュームで行います。

ご注意 接続された外部機器は同時に使用できますが、機器ごとに音量を調節することはできません。予備入力に接続される外部機器の出力レベルは適切に調節しておいてください。

4 使用後は、ボリュームを最小にし、必ず外部入力電源スイッチを切る。

ご注意 電源スイッチが ON の状態では、電気回路に電気が流れたままとなり、電池が消耗します。

■ 外部電源で使用するとき



操作パネルの外部電源入力端子に、付属の外部電源用プラグ付きコードを使って、12 V バッテリーを接続します。
外部電源用プラグ付きコードは、白の文字側を「＋」に接続してください。

ご注意

- 外部電源入力端子にプラグを差し込むと、内部電源（乾電池）は切れて外部電源が優先します。
- 12 V バッテリーに接続する場合は、安全のため必ず 5 A ヒューズ（別途手配）を挿入して使用してください。
- エンジンがかかっている車のシガレットライターソケットなどから電源をとらないでください。バッテリー電圧が高くなっている場合があり、故障の原因となります。